

# 令和4年度 新冠町の予算

会計名	今年度予算額	前年度予算額	前年度比増減率
一般会計	53億4600万円	50億4500万円	6.0%
簡易水道事業特別会計	2億5995万円	2億2691万円	14.6%
下水道事業特別会計	2億1110万円	2億2846万円	△7.6%
国民健康保険特別会計	8億7176万円	8億6937万円	0.3%
後期高齢者医療特別会計	8730万円	8694万円	0.4%
介護サービス特別会計	3億0783万円	3億3758万円	△8.8%
国民健康保険診療所特別会計	4億4951万円	4億6399万円	△3.1%
特別会計合計	21億8745万円	22億1325万円	△1.2%
総額（一般会計+特別会計）	75億3345万円	72億5825万円	3.8%

令和4年度の一般会計予算総額は53億4600万円となっており、骨格予算であった前年度当初予算に対し、3億100万円増額しています。歳入予算では、自主財源であります。町税については、法人、固定資産税、入湯税については減収を見込んでいますが、他税目においては増収を見込んでおり、町税全体では前年度対比1.7%の増となっています。

また、歳入予算で最も大きな割合を占める地方交付税のうち普通交付税については、令和4年度地方財政計画や近年の交付実績を考慮し、前年度当初予算対比0.3%増と見込んでいます。歳出予算では、骨格予算であった令和3年度当初予算と対比し6.0%の増となっており、町民の方が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、子ども・子育ての施策や防災対策整備事業について予算計上し、産業振興や福祉施策についての各種事業についても前年度に引き続き、予算計上しています。

町債（借金）の残高は、令和3年度末の見込みで約57億3908万円、令和4年度の見込みでは約53億5065万円となっています。当初予算においては、減債基金から

## 令和4年度の主な事業

### ◆続・新冠町史「第2巻」(仮称) 発刊事業

郷土の発展と変遷の様子を正しく記録にとどめ、先人が残した貴重な文化遺産を大切に保存し、更に歴史を後世に伝えていく手段として、続・新冠町史（平成8年発刊）の続編を制作します。

○事業期間：令和4年度～令和8年度

### ◆感染対策輸送能力増強事業

町内の地域公共交通の維持・確保を目的とし、町コミュニティバス運営事業において使用する、感染症対策備品「オゾン発生装置」を装備したコミュニティバス1台を新たに購入し、運行車両を3台とすることで、車内消毒のさらなる徹底化を図り、車内感染リスクの低減を図ります。



### ◆感染症対策高規格救急自動車購入事業

高規格救急自動車での新型コロナウイルス患者搬送時における、傷病などの患者から二次感染リスクを最小限に抑えるため、感染防止対策装置などを装備した車両を購入します。

### ◆校務支援システム導入事業

教職員には、児童生徒に対する指導を一層充実させることが求められており、その実現に向けて、成績処理、時数管理、指導要録作成や情報共有などを行う校務支援システムを導入し、教職員の負担軽減を図ります。

### ◆アイヌ政策推進事業（継続事業）

アイヌの人々が誇りを持って地域で暮らし、アイヌ文化を次世代へ継承していくとともに、多様な文化と共生・共存しながらアイヌ文化を発信し、アイヌ関連の交流活動を活発化させ、創造的で魅力ある地域社会を築いていくことを目的に実施します。

#### 【事業概要】

- ポロシリ生活館外構等整備工事
- 伝承映像デジタル化業務委託
- 施設運営に必要な備品の購入
- 教育観光施設としてパネル展等の実施



現在、建設中のポロシリ生活館

### ◆アイヌ文化映像記録制作事業

新冠に数多く残るアイヌ文化の中で、「判官館森林公園とアイヌ文化」をテーマに判官館に残された伝説や歴史、豊かな自然環境の映像記録を制作し、広くアイヌ文化に対して理解を図るとともに、アイヌ民族の誇りを未来につなげていくことを目的に実施します。

その他に『地方税共通納税システム対象税目拡大業務』・『社会資本整備総合交付金事業（ひがつら団地長寿命化）』・『感染対策認定こども園通園バス購入事業』などの事業も実施します。

## 一般会計項目別内訳

